

いいじま まさよし
飯島 正義 議員



正規職員の確保と非正規 職員の勤労の差をなくす

問 会計年度任用職員の給与は職務内容等に応じて決まり、低く抑えられています。福利厚生も正規職員と比較して充実度が劣る場合があります。現状を伺います。

答 フルタイムで働く会計年度任用職員の給与は正職員平均の66%です。昇給上限や休暇制度などについても国の通知に基づいた運用や非常勤職員に合わせ、処遇の向上を図ってきたところです。

アピアランスケア用品の 購入補助を早急に

問 アピアランスケア用品は、がん治療等に伴う外見の変化による心理的負担を軽減し、治療と社会参加の両立を支援するものです。療養の質の維持に繋がり、助成を求める声が寄せられています。市の考えを伺います。

答 ケア用品は質や価格の幅が広く、日常生活等の状況を踏まえて各自が選択する範疇と認識しています。国による制度化が望ましいこと、外見の変化はがんだけでなく他の病気等もあり、市として現時点で助成を実施する考えはありません。

よしかわ としゆき
吉川 敏幸 議員



学校統廃合に関して 声なき声に耳を傾ける

問 学校の統廃合に関して、議会の議決は必要なのか。

答 学校設置条例に旭小学校の記載があるので、削除を求める議決が必要になると考えている。

問 ならば、議会にデータで示して欲しい。今議会では、埼玉県立高等学校を男女共学化にするにあたって、生徒の意見を尊重した方針決定を求める意見書が提出される。埼玉県教育委員会は中学生及び高校生とその保護者に対するアンケートを実施しているが、今後さらに慎重な議論を求めている。吉川市教育委員会は、統廃合に当たり、児童、生徒やその保護者、そして、地域の住民に対して、アンケートを行う考えはあるのか。

答 改めてアンケートを行う考えはない。

問 地域から学校を失くすと更なる人口流出や地域コミュニティの喪失という社会的コストが掛かることが懸念される。市はどう捉えているか。

答 学校が地域コミュニティの核であると認識している。学校跡地の有効活用や地域が衰退しないような策を考えていければと考えている。

いわた きょうこ
岩田 京子 議員



大規模データセンターの 環境影響と市の対応

問 吉川美南駅東口の産業ゾーンに誘致された大規模データセンターは、IT電力容量80MWの2棟からなる計画で全国でも最大級の規模となる。一般的な電力を使用した場合、1事業者だけで、年間約37.9万tCO₂を排出すると推計され、吉川市全体の排出量(27万tCO₂)を大きく上回る。ゼロカーボン政策への大きな影響は明白だが、市はどのように対応するのか。

答 環境省の自治体排出量カルテで状況を把握し、事業者者に情報公開を求める。また、再エネ由来の電源調達や最新鋭の省エネ機器導入など環境対策を要請している。

問 市としての公開も必要。環境政策はこれから入所するテナントの方針によって左右されると聞いている。土地取得会社、投資会社、建設運営していく会社、入居するテナント会社など様々な事業者が関わるが、市は誰と協議をしているのか。

答 現在は建設・運営事業者と協議している。今後、入居するテナントとも協議できるか確認していく。

えんどう よしのり
遠藤 義法 議員



安全に自転車通行可能な 道路と標識を

問 市内の歩道で自転車通行可能な路線数と今後拡充する計画は。自転車通行可の標識がわかりにくいので、路面に標示する考えは。

答 普通自転車が通行可能な歩道は、市・県道で15路線。歩道内を普通自転車が通行可能と指定できるのは幅員が3m以上で、歩行者の通行や沿道の状況などから公安委員会が規制します。新規に歩道を自転車通行可と指定する予定はないと警察から聞いています。路面標示は、交差点に入る箇所にわかりやすくできないか検討します。

除染土の処理を早急に

問 福島原発事故から15年。吉川市は原発事故後除染作業を行い、学校、公園などに除染土を一時保管しています。国の責任で一日も早く除染土処理を実施すべきです。

答 除去土壌は市内25か所に保管しています。環境省より処理のガイドラインが示され、国と協議を重ねております。国がやるべきことは要望しつつも、市がすべきことは責任をもって行います。